

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【公開番号】特開2005-336494(P2005-336494A)

【公開日】平成17年12月8日(2005.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2005-048

【出願番号】特願2005-155473(P2005-155473)

【国際特許分類】

C 08 G 18/72 (2006.01)

C 08 G 18/16 (2006.01)

C 09 D 5/02 (2006.01)

C 09 D 7/12 (2006.01)

C 09 D 175/04 (2006.01)

【F I】

C 08 G 18/72 Z

C 08 G 18/16

C 09 D 5/02

C 09 D 7/12

C 09 D 175/04

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月15日(2008.4.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) イソシアネート-反応性基を有する分散ポリマー、

(b) 表面が不活性化された固体状のオリゴマー性の分散ポリイソシアネートおよび

(c) 少なくとも1種の触媒

を含有する水性組成物であって、1種もしくは複数種の触媒が、該オリゴマー性ポリイソシアネートの熱開裂によって生成するモノマー性ポリイソシアネートの反応を、該熱開裂自体よりも強く促進する該水性組成物。

【請求項2】

下記の成分(i)~(iii)を混合させることを含む請求項1記載の水性組成物の製造方法:

(i) 少なくとも1種のイソシアネート-反応性ポリマーの水性分散液、

(ii) 少なくとも1種の分散された固体状の表面不活性化オリゴマー性ポリイソシアネート、および

(iii) 該オリゴマー性ポリイソシアネートの熱開裂反応によって生成するモノマー性ポリイソシアネートの反応を、該熱開裂反応自体よりも強く促進する少なくとも1種の触媒。

【請求項3】

請求項1記載の水性組成物および次の群から選択される1種もしくは複数種の添加剤を含有する結合剤、接着剤または塗料を支持体上へ塗布することを含む潜架橋性接着剤層の形成方法:湿潤剤、乳化剤、増粘剤、保護コロイド、安定剤、酸化防止剤、充填剤、着色顔料、可塑剤、非溶剤およびこれらの混合物。

## 【請求項 4】

請求項 1 記載の水性組成物から得られる層で被覆された支持体。